

参考 表-2 概ね5年間で実施する取組

赤字:H30.5.28更新箇所

資料-3

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関										
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町
1)ハード対策の主な取組														
■洪水を安全に流すためのハード対策														
		流下能力対策(河道掘削等)	S	始良川の河道掘削	引続き実施			南木川、塩入川の築堤及び河道掘削等	引続き実施					
		浸透対策(シラス堤防の質的強化)	T	肝属川、串良川、高山川の堤防質的強化(川裏側)	引続き実施									
■危機管理型ハード対策														
		堤防川裏法尻の補強	S	串良川、高山川の川裏法尻補強	H28年度から実施									
■避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備														
		地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	F	川の警告灯の検討・設置	引続き実施									
		急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	F	上流部に設置する水位計の検討・設置	H29年度から実施									
		きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計等の検討・設置	L	水位計やCCTVカメラの設置箇所について改めて検討・設置	引続き実施			量水標の設置について検討	H29年度から実施				簡易水位計の設置(汐入川柏原橋)	H30年度から実施
		適切な水防活動等を目的とした、堤防幅の検討・整備	U	大型車両の離合等水防活動をスムーズに行えるよう堤防天端の幅幅について検討・整備	引続き実施									
		緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画に基づく金場の検討・設置	R	迅速にポンプ設置を可能とするためポンプ察場の設置を検討・設置	H28年度から実施									
■施設の確実な機能確保														
		洪水時に適切な施設運用が出来るよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	V	監視結果による老朽箇所の対策を実施し河川管理施設の機能維持を図る	引続き実施									
		庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るための耐水化等の検討	Q	非常用電源等耐水化の必要性を検討	H29年度から実施					串良総合支所における庁舎の浸水対策検討	H29年度から実施	肝付町役場における庁舎の浸水対策検討	H29年度から実施	

項目	事項	内容	課題の 対応	実施する機関												
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期	
<b>2)ソフト対策の主な取り組み ①地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信に関する取組</b>																
<b>■防災情報の確実な伝達</b>																
		避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	A								未設置者への防災行政無線の普及	引続き実施	アナログ無線からデジタル無線への更新	H28年度から実施	未設置者への防災行政無線の普及	引続き実施
		避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びプッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	A								スマートフォンアプリの普及	引続き実施	スマートフォンアプリの検討・整備	H29年度から実施		
<b>■適切なタイミングでの情報発信</b>																
		確実な避難を促すための、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	D	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインを支援する情報の提供 時系列で危険度を色分け表示、警報級の可能性の提供(H29.5.17～) 大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布の提供(H29.7.4～)	H29年度から実施				タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施
<b>■視覚的にわかりやすい情報発信</b>																
		洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	E	河川カメラのライブ映像提供	H28年度から実施											
		簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	F L	簡易水位計や河川カメラの設置	引続き実施			鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引続き実施						鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引続き実施
		地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	F	川の警告灯の検討・設置	引続き実施											
<b>■浸水区域等のリスク情報の周知</b>																
		地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	I	想定される最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	H28年度に実施											
		地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	I	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成支援	H29年度から実施					想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	H29年度から実施	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	H29年度から実施	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	H29年度から実施	
		地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	G H	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討支援	H29年度から実施					浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	H29年度から実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	H31年度から実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	H29年度から実施	

項目	事項	内容	課題の 対応	実施する機関											
				大隅河川国道		気象台		鹿児島県		鹿屋市		肝付町		東串良町	
				時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期		
<b>2)ソフト対策の主な取り組み ②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組</b>															
<b>■水防災を意識する社会の醸成のための支援</b>															
		河川協力団体と連携した住民目線での啓発活動の実施	A B D K	出前講座や河川協力団体と連携した水防災意識再構築のための啓発活動の実施 河川協力団体と連携した防災意識調査・分析	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施		
		教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	A B D K	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の実施 防災教育教材の充実	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度から実施		
		地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	G H	マイハザードマップ検討・作成支援	引き続き実施					マイハザードマップの検討・作成	引き続き実施		マイハザードマップの検討・作成		
		地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画の推進・支援	G H	地区防災計画の推進・支援	引き続き実施							地区防災計画の推進	引き続き実施		
		水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施	K	防災をテーマにしたパネルの作成及び展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施		
		浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援	K	「まるごとまちごとハザードマップ」作成に向けた支援	H29年度から実施					「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施		
<b>■自主防災組織等への支援</b>															
		自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	C J	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施					自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施		
		災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	J	出前講座による防災教育の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加未組織の地区について自主防災組織の推進	引き続き実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加未組織の地区について自主防災組織の推進	引き続き実施		

項目	事項	内容	課題の 対応	実施する機関																			
				大隅河川国道		時期		気象台		時期		鹿児島県		時期		鹿屋市		時期		肝付町		時期	
2)ソフト対策の主な取り組み ③地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防活動が行える訓練等のソフト対策に関する取組																							
■関係機関及び地域住民と実施する訓練等																							
		防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	C	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施								
		水防技術伝承のための水防団(消防団)員の防災訓練等の実施	N	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施					水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施								
		災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	O	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練への支援	引き続き実施					自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施								
		浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	Q	浸水想定区域内にある病院や地元企業のBCP作成や訓練実施の支援	H29年度から実施					浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施	H29年度から実施								
■確実な水防活動への支援																							
		適切な水防団(消防団)人員の確保	N							市報を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集	H29年度から実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施								
		水防協力協定等企業(地元建設業等)と連携した水防活動の実施	N							水防協力協定の実施	引き続き実施	水防協力協定の実施	引き続き実施	水防協力協定の実施	引き続き実施								
		適切な水防活動を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有	P	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施					合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施								
		堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討	M	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と3市町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施					相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と鹿屋市でリアルタイムの情報共有	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と肝付町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と東串良町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施								
		大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	P	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討(既存施設含む)	H29年度から実施					大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施								
■大規模災害時における排水施設の適切な運用																							
		緊急時に早急かつ確実な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	R	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画及び釜場の検討・設置	H28年度から実施					大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施								

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP1 危険な場所を知る

取組名称		⑦氾濫シミュレーション、⑧洪水ハザードマップ作成					
到達目標							
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容							
	実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考
⑦	国	氾濫シミュレーション	・シミュレーション実施 ・H29. 3 L2公表	⑧の作成支援			・H28完了
	県				・シミュレーション検討予定	⑧の作成支援	・水位周知河川等の指定の必要性を検討 ・串良川等の浸水想定区域図の作成の検討
⑧	鹿屋市	洪水ハザードマップ作成			・HM作成(国区間)		・指定区間はシミュレーション後
	東串良町			・HM作成(国区間)		・指定区間はシミュレーション後	
	肝付町			・HM作成(国区間)		・指定区間はシミュレーション後	

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP2 危険な時を知る

取組名称		河川水位に関する情報の入手						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
		実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP3-1 その情報を伝える

取組名称		⑩啓発活動(河川協力団体等イベント)、⑪水防災教育、⑭啓発活動(水防災)						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
		実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考
⑩	国	・各種イベント、機関誌での広報	実施	継続実施				・河川協力団体(始良川愛護会、FMかのや)のイベントでの啓発
⑪	国 気象庁 鹿屋市 肝付町 東串良町	・教育機関と連携した水防災教育の実施 ・防災教育教材の充実		・防災教育教材の充実 ・教育関係者との協議	・防災教育実施	継続実施		・実施手法は要検討
⑭	国 気象庁 鹿屋市 肝付町 東串良町	・イベント時のパネル展示等	実施	継続実施				

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP3-2 その情報を伝える（発災時）

取組名称		①戸別防災無線、②-1 FM・アプリ放送、②-2 PUSH配信、④河川ライブ映像、⑤-1 水位情報（配信）、⑤-2 水位情報（簡易水位計、河川カメラ設置）、⑥川の警告灯、㉔リアルタイム情報共有					
到達目標							
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容							
	実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考
①	鹿屋市 東串良町 肝付町 戸別防災無線	・設置促進	・継続実施				※H29普及率 鹿屋市： 東串良町： 肝付町：
②-1	鹿屋市 肝付町 FM・アプリ放送		・事前協議	・配信開始予定			・必要に応じて見直し
②-2	国 PUSH配信		・事前協議（H29.10） ・広報手法検討	・広報実施 ・H30.5.1配信開始予定			・必要に応じて見直し
④ ㉔	国 ・河川ライブ映像 ・堤防点検結果等（発災時）の共有	・NHK.3市町接続	・MBC接続	・その他民放協議	・継続実施		
⑤-1	国 県 水位情報（配信）	・インターネットでの提供 ・地上デジタル放送 ・3市町への提供					・川の防災情報、県河川砂防情報システム ・地デジ配信（NHK、KYT、MBC） ・3市町接続済 ・必要に応じて追加、見直し
⑤-2	国 県 水位情報（水位計、河川カメラ設置）		・簡易水位計設置検討	・簡易水位計設置（予算次第）	・簡易水位計設置（予算次第）	・簡易水位計設置（予算次第）	・直轄管理区間（国） ・串良川等の指定区間（県） ハード対策5）関連
⑥	国 川の警告灯	・下谷川設置	・設置箇所検討	・必要に応じて設置			・下谷川設置済（国） ・必要に応じて設置



取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP4-1 情報を入力した者がどう行動すべきか知る・検討する

取組名称		③避難タイムライン、⑨避難経路見直し、⑫マイHM作成、⑬地区防災計画、⑮まるまちHM作成						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
	実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考	
③	国 気象庁 鹿屋市 肝付町 東串良町 ・タイムラインの検証見直し ・作成支援情報の提供	・タイムライン検討・策定	・検証・見直し ・気象情報提供				・必要に応じて見直し	
⑨⑫ ⑬⑮	国 気象庁 鹿屋市 肝付町 東串良町 ・地区防災計画(仮)(避難経路見直し、マイHM、まるまち等)作成		・既存資料等収集、確認 ・実施地区検討	・計画作成	・他地区への展開	・他地区への展開	・実施地区及び内容検討	

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP4-2 要配慮者施設等への対応

取組名称		㉔避難計画・訓練、㉕企業の被害最小化対策						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
		実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考
㉔	鹿屋市 肝付町 東串良町	・自主防災組織等と連携した避難訓練の実施			・作成団体等検討 ・避難確保計画作成	・訓練実施		・作成支援(国、県、気象庁)
㉕	鹿屋市 肝付町 東串良町	・病院や地元企業と連携した訓練実施			・BCP作成企業等検討 ・BCP作成	・訓練実施		・作成支援(国、県、気象庁)

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

STEP5 関係者全員が認知・熟知する

取組名称		⑯自主防災組織、⑰防災リーダー育成、⑱防災勉強会、⑲水防団訓練、⑳水防団員確保、㉑企業と連携した水防、㉒適切な水防資材確保、㉓拠点検討、㉔ポンプ車配置計画						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
実施内容		～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考	
⑯ ⑰ ⑱	国 気象庁 鹿屋市 肝付町 東串良町	・防災勉強会の実施（関係機関、地元等）	・出前講座等で実施	・出前講座等で実施	継続実施		・実施内容は参加者によって調整	
⑲ ⑳	国 鹿屋市 肝付町 東串良町	・防災訓練の実施（水防団、地元建設業者）	・防災訓練の実施	・防災訓練の実施	・水防団員や地元建設業者との防災訓練の実施	継続実施	・実施内容は参加者によって調整	
㉒	鹿屋市 肝付町 東串良町	・水防団員確保	・水防団員募集の広報	継続実施				
㉒ ㉔ ㉓	国 鹿屋市 肝付町 東串良町	・合同巡視の実施 ・保有水防資材の情報共有 ・水防活動等の拠点施設の検討	・合同巡視の実施 ・水防計画書作成・共有	継続実施				
㉔	国	・ポンプ車配置計画	・ポンプ車の配置計画見直し				・必要に応じて見直し	

取組項目事業進捗表（案）

資料更新中

ハード対策

取組名称		1)河川改修(流下能力確保)、2)河川改修(堤防質的強化)、3)河川改修(堤防法尻補強)、4)川の警告灯、5)水位計、6)CCTVカメラ、7)水防活動のための堤防拡幅、8)ポンプ釜場の、9)施設の維持管理、10)庁舎の耐水化						
到達目標								
●機関別実施スケジュール、年度毎の実施内容								
		実施内容	～H28	H29	H30（予定）	H31（予定）	H32（予定）	備考
1)	国 県	・河川改修(流下能力の確保)	・始良川掘削等 ・甫木川、塩入川築堤・掘削等	引き続き実施				予算等により実施内容変更
2)	国 県	・河川改修(堤防質的強化)	・岩弘地区他対策実施					予算等により実施内容変更
3)	国 県	・河川改修(堤防法尻補強)	・下中地区他対策実施					H28完了
4)	国	川の警告灯	・下谷川設置		・STEP3-2の状況により必要に応じて設置			予算等により実施内容変更 STEP3-2 ⑥関連
5) 6)	国 県	水位計・カメラの検討、設置		・設置箇所検討	・設置箇所検討、設置			予算等により実施内容変更 STEP3-2 ⑥関連
7)	国	・堤防天端拡幅の検討、整備			・拡幅箇所検討	必要に応じて整備		予算等により実施内容変更
8)	国	・ポンプ釜場の検討、設置	・設置箇所検討					H28完了(必要に応じて追加検討)
9)	国 県	・施設の維持管理(老朽化対策の実施、管理施設の機能維持等)	・継続実施					
10)	国 県	・庁舎等耐水化	・耐水化実施	・対策状況確認(国管理施設) ・確認内容共有	・対策状況確認(各管理施設)			必要に応じて対策実施